

BENIBANA Renaissance vol.5 2012

Dec 21 Fri WORKSHOP 12:00-16:00
Dec 22 Sat SYMPOSIUM 12:00-16:00

紅花ルネサンス

「種」を蒔く、ということとは「生命」の不思議を思考します。特筆すべきは《半夏のひとつ咲き》*註。

どのような敷地の広さに関わらず、先陣きつて蕾の一輪が開き、そして次々に咲き始めます。この事実が地球の、宇宙のドラマと、どのように繋がっているのでしょうか。

芸工大テキスタイルコースで学ぶ者達は、今年もまた「種」を蒔くことから始まりました。比喩ではなく実際に、東北の、山形の大地に紅花の「種」を蒔き、太陽の光、月の光彩のなかで、紅花の生態の不可思議を体感してきた彼女達がここにいます。

2012年4月12日、今またその「生命」は繋がりました。その遺伝子的繋がりは、想像から創造へと意識は紡ぎ出され、不思議の先に在る大切な「種」は、ひとり一人の予言に満ちた、不可視の可視化に繋がろうとしています。

昨年3月11日以降「世界は変わり」そしてまた、人の意識も変わらなければならぬ程の、大いなるメッセージを受けました。私たちは明日に向かって、どのような「種」を蒔き、未来の世界像を描くのでしょうか。

2012年10月 辻けい

*註)半夏生は七十二候の一。夏至から11日目にあたる。

2012年12月21日(金曜日) 冬至 【ワークショップ】 12:00-16:00 東北芸術工科大学 本館前正面広場
22日(土曜日) 【シンポジウム】 12:00-16:00 東北芸術工科大学 こども芸術教育研究センター内 こども劇場
【対象】 全教職員、学生及び紅花研究者、染織家、紅花栽培農家、紅花に関心をお持ちの一般参加者 参加無料

SYMPOSIUM シンポジウム 22日(土) 12:00-16:00

第1部
「紅花／刺の聲」(映像・詩) 12:10-
吉増剛造 Gozo Yoshimatsu
詩人
「ライブトーク・音を巡って」 13:00-
パネリスト
吉増剛造 Gozo Yoshimatsu
東北芸術工科大学学長・映画監督
根岸吉太郎 Kichitaro Negishi
東北芸術工科大学学長・映画監督
加藤到 Iharu Kato
東北芸術工科大学映像学科教授・映像作家
加藤正人 Masato Kato
東北芸術工科大学映像学科教授・脚本家
岩井天志 Tenshi Iwai
東北芸術工科大学映像学科准教授・映像ディレクター
モデレーター
辻けい Kei Tsuji
東北芸術工科大学テキスタイルコース教授・美術家

----- ティータイム (紅花茶) 14:00-14:30 -----

第2部
「紅花ライブトーク」 14:30-
「紅花」有識者を招き、来場者も交えて今後の活動方針や可能性を探る。公開ディスカッション。
パネリスト
吉岡幸雄 Sachio Yoshioka
染織研究者・染司よしおか五代目
山岸幸一 Koichi Yamagishi
染織家・日本工芸会正会員・東北芸術工科大学非常勤講師
大内理加 Rika Ouchi
山形県議会議員・山形県紅花生産組合連合会会長
中島洋一 Yoichi Nakajima
古典織物研究者・東北芸術工科大学非常勤講師
モデレーター
辻けい Kei Tsuji
東北芸術工科大学テキスタイルコース教授・美術家
山崎和樹 Kazuki Yamazaki
東北芸術工科大学テキスタイルコース准教授・草木染研究者

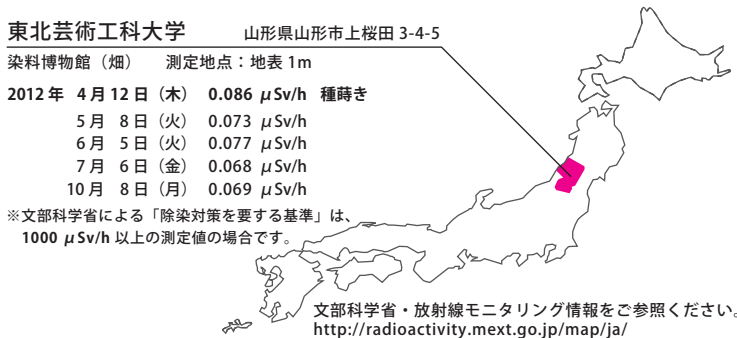
ENQUIRIES お問い合わせ

990-9530 山形市上桜田 3-4-5 東北芸術工科大学
芸術学部美術科テキスタイルコース 辻けい / 山崎和樹
tel.023-627-2000 (代表) fax.023-627-2081
tel.023-627-2207 (テキスタイル準備室・松山)
mail.matsuyama.jun@aga.tuad.ac.jp
http://gs.tuad.ac.jp/textile/

WORKSHOP ワークショップ 21日(金) 12:00-16:00

「紅花プロジェクト今年度活動報告」 12:00-
(場所) こども芸術教育研究センター内 こども劇場
パネリスト
石山信哉 Shinya Ishiyama
山形市高瀬地区・産地直売所たかせ代表
遠藤みよ Miyoko Endo
山形市高瀬地区・産地直売所たかせ
齋藤善一 Zenichi Saito
山形市高瀬地区・高瀬紅花生産組合
テキスタイルコース3・4年生
「紅花染ワークショップ」 14:00-
紅花寒中(冬至) 染め体験。
(場所) 本館前正面広場
※ワークショップ当日は汚れても良い服装でご参加ください。
屋外にて作業しますので防寒のご用意をお願い致します。
お食事は学生食堂も御利用頂けます。(open-close 10:30-19:00)
※翌22日(土)は休みとなる場合有り。ご確認ください。

MONITORING INFORMATION OF ENVIRONMENTAL RADIOACTIVITY LEVEL 放射線モニタリング情報



ACCESS アクセス

●山形新幹線利用の場合
東京駅-[直通150分]-山形駅
-[バス20分]-東北芸術工科大学
※山形駅前5番バス乗り場
「芸術工科大学前ゆき」乗車

●高速道路利用の場合
東北自動車道・村田JCT
-[山形自動車道40分]
-山形蔵王IC-[10分]-東北芸術工科大学

※表紙「刺の聲」は、今回御出演頂く、詩人・吉増剛造氏の生原稿をモチーフに使用。